



第1170回例会挨拶

みなさん今日は 本日は何かとご多用のところ例会にご出席いただきありがとうございます。

本日は日本赤十字社の兵庫県支部から課長の山本敏一様にお出でをいただいております。この後でのお話よろしく願いたします。

さて季節はまさに収穫の秋を迎えております。野に山に里にあらゆる秋の味覚がたわわに実を結んでいます。柿、栗、ぶどう、梨、大豆、あけび……など、そんな中で私事で恐縮ですが、この季節になると何故かソワソワする、血が騒ぐということがあります。それは金木犀の花が芳しい香りを漂わせている今頃です。今では近辺の山では殆ど見かけ難くなっていますがそれは松茸です。

若い頃の話ですが、村の山で松茸取りの仲間があり、決められた日にみんなで山へ行きました。ここにおられる前会長のL藤井義輝も一緒でした。私は脱兎のごとく山頂めざして登りました。その勢いで足元の松茸を蹴り飛ばして登って、後でたいへん叱られたこともありまして。しかしあるとき、ある所でこれは何だということがありました。回り一面白茶色の傘が所狭しと咲き誇っていました。これは毒茸かなと一瞬思い、一本とって香りを嗅ぐとまぎれもない松茸です。嬉しさが手が震えながら取りました。たちまち籠が一杯になり、大きな声で仲間を呼び一緒に取ってもらいました。

そんな思い出があり、こと松茸の話になると感慨深いものがあります。山のダイヤモンドと言われるほど貴重なもので、最近はありません。松喰い虫か、酸性雨かその他の原因がよく分かりませんが、肝心の赤松が枯れていたり、赤松から



マツタケ狩り

会長 生田 弘之

松茸の胞子が落ちて、この頃はこく葉をかくということはありません。地面の状態が悪くとも松茸の生える環境ではありません。昔はタテにいっぱいになり、二人で担いで山を下りたこともあったと聞いております。この季節のこんな松茸の話に何とも言えない郷愁を感じているのは私だけではないと思っています。

話は変わりますが先日チャリティバザーには関係のメンバーの皆さんには日曜日の何かとご多用の中にご出席いただきありがとうございました。おかげさまで154,201円と言う尊い収益金をいただく事が出来ました。この貴重な財源は次に予定しております視力障がい者支援事業に、先日正式決定をいただきましたLCIF基金と合わせて有効に使わせて頂きます。

この事業で感じた事です。ライオンズ必携を読みますと「クラブがアクティビティ計画を決定すると、そのために資金の調達が必要となる。本来はクラブが計画し、かつ実行するアクティビティ資金獲得事業によりつくりだされるべきである」となっております。又「目的達成のためには会員による自発的な拠出金によって事業を成功させる」とあります。わがクラブではバザーの商品はメンバーの皆さん方に提供していただいておりますが、この事例に当てはまる唯一つの資金獲得事業であると思います。このように必携にあるようなアクティビティが、他にできないものかみんなで考えてみることも必要ではないかと思ひます。私がアクティビティスローガンで申し上げております「広げよう奉仕の輪を 高めよう奉仕の心を」を実践する良い機会でないかとも思ひます。それでは以上を持ちまして例会挨拶とさせていただきます。

を成功させる」とあります。わがクラブではバザーの商品はメンバーの皆さん方に提供していただいておりますが、この事例に当てはまる唯一つの資金獲得事業であると思います。このように必携にあるようなアクティビティが、他にできないものかみんなで考えてみることも必要ではないかと思ひます。私がアクティビティスローガンで申し上げております「広げよう奉仕の輪を 高めよう奉仕の心を」を実践する良い機会でないかとも思ひます。それでは以上を持ちまして例会挨拶とさせていただきます。

それでは以上を持ちまして例会挨拶とさせていただきます。



山本敏一様(左)と永濱義也様

東日本大震災報告

日本赤十字社 兵庫県支部 事業部 救護福祉課長
山本 敏一 様

日本赤十字社は、紛争や災害等の被災者の救護活動、血液事業や医療事業などを主な活動とする民間団体で、事業資金は、主に社費と寄付金で賄われています。活動範囲は国内はもとより遠く海外まで広範多岐に及んでいます。



震災のその時

日本赤十字社兵庫県支部、兵庫県赤十字血液センター合同社屋と隣接する神戸赤十字病院は、日本赤十字社の第一義的な活動である災害救護活動を、より迅速かつ効果的に行うため、兵庫県災害医療センターと連携し、災害時における救護活動の拠点施設として3月11日(金)の東日本大震災では発災直後から本社、被災地の支部ならならびに被災地の県市町災害対策本部などとの密接な連携のもとで、24班、221人に及ぶ医療救護班や4チーム、13人のこのころのケアチームを派遣、延べ2317人の被災者の診療と延べ433人のこのころのケアを行いました。

今回の東日本大震災におきましては、義捐金、ボランティア活動、献血など様々なご協力をいただきました。今後とも皆さまとともに人道的な活動を続ける赤十字にご支援ご協力をお願いいたします。



チャリティーバザー報告

保険奉仕委員長 徳岡 武義



ド口水との格闘



千客万来



産業フェスタのにぎわい



にしわき宣隊「ヘソレンジャー」



市長も出席されてセリを開始



完売しました



立派な牛でした。重さは約800kgの巨漢

市民ふれあいグラウンドゴルフ大会報告

第三副会長 岡本 和明

平成23年11月3日好天の下、午前9時受付9時30分よりL生田会長の挨拶で開会式が始まり、午前10時に24チーム参加によるショットガン方式での試合開始となりました。老人会・子供の混成チームのためかスタート等で不手際もありましたが、LC会員の協力により試合は順調に進行し、参加者全員にケガもなく3試合が無事終了しました。

上位の成績は、

- 第1位 郷瀬町
- 第2位 和布B
- 第3位 野村町重国会

となりました。

表彰式では、L生田会長より優勝・準優勝・第3位にそれぞれトロフィーと賞品が手渡され、その他順位にも各賞品が手渡されますと、参加者全員から拍手がありました。この後、午後1時30分に閉会式が行われ、大会は無事終了する事ができました。試合全体を見ていてL生田会長が希望されていた「世代間の交流を」ができていたのではと感じました。

大会前日の準備に21名のLC会員が、大会当日も準備段階から後片付けまで24名のLC会員が協力していただいた結果、「市民ふれあいグラウンドゴルフ大会」を成功裏に終えることができました。ご協力本当にありがとうございました。



アー残念

優勝はどこだ

ふれあいのよろこび